



いしかわ教育の日 シンボルマーク
発行・編集／石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL (076) 225-1811
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.htm>

たいあつぱ

中学生サイエンスチャレンジ

金賞

志賀中、七尾東部中、松陵中、
上野台中、東和中A、辰口中、
布水中A

計 29校35チーム (105名) 参加

【七尾会場】平成 24年 11月 17日

【金沢会場】平成 24年 11月 23日



チームワークが大切

いしかわ高校科学グランプリ

優勝

金沢泉丘高校A

第2位 七尾高校A

第3位 金沢大学附属高校

※優勝チームは、3月に行われる「科学の甲子園」に参加の予定

14校25チーム (160名) 参加

平成 24年 8月 18・19日

筆記競技では、
各自の得意分野を
生かして…



科学好きの裾野を広げ、
応用力を伸ばす

〈中学生サイエンスチャレンジ、
いしかわ高校科学グランプリの取組〉

「科学技術創造立国」を目指す我が国にとって、次代を担う科学技術系人材の育成は重要な課題です。しかし、日本の生徒の理科の成績は国際的に見て上位にあるものの、「数学・理科の勉強は楽しい」、「将来、数学・理科を使うことが含まれる職業につきたい」などとする割合は決して高くありません。そこで、国において科学技術・理数教育を推進するとともに、県教育委員会でも科学教育の充実を図る独自の事業を進めています。その一環として、今年度より「中学生サイエンスチャレンジ」、「いしかわ高校科学グランプリ」という二つの取組を行っています。

「中学生サイエンスチャレンジ」は、これまでに学習した科学の原理や法則を活用して、身近で科学的な課題にチームで取り組みます。今年度は、電磁石の学習を生かしてリニアモーターカーを製作し、走行距離を競いました。参加生徒は試行錯誤を繰り返しながら、成果に一喜一憂していました。

また、「いしかわ高校科学グランプリ」は、理科・数学・情報に関する筆記競技、理科に関する実験競技、科学技術を活用してものづくりの能力などを競う総合競技の三つに、チームで挑みます。教科書や普段の授業では扱わないような応用的な問題に、生徒はメンバーで協力しながら果敢に取り組みました。

県教育委員会では、これらの取組をとおして、科学に対する生徒の興味関心を高めるとともに、日頃の理数の学習に対する積極的な姿勢を育んでいきたいと考えています。

いじめ問題への取組について

いじめを見逃さない・
風通しのよい
学校づくりをとおして
児童生徒が安心して
学べる環境を
整えます。



いじめの問題が背景要因として考えられる児童生徒の自殺が全国で相次いで発生し、大きな社会問題となっています。

各学校においては、これまでも早期発見・早期対応の取組や未然防止に努めてきていますが、残念ながらいじめはなくなるというのが現状です。

そこで、「いじめを見逃さない」という視点を重視し、日頃から外部関係機関と連携するとともに、いじめ問題に学校挙げて積極対応する「風通しのよい学校づくり」を進める校内体制の整備を図っています。

家庭でのお子さんの
様子に変わりは
ありませんか。



家庭は、子どもにとって、最も安心できる心の居場所です。もし、お子さんがいじめ等の被害で悩んでいたら、まずしっかりと話を聞いてあげてください。

また、これまでの事例でいじている側がこのくらいは「あそびやからかい」としていじめの認識がない場合や、「周りで見ているのに助けることができなかった」と心を痛めていることがあります。

お子さんに気になる変化や心配な兆候を発見したら、学校や相談窓口にご相談してください。

学校の校内体制整備(組織的対応)

校長をトップとする
「いじめ問題対策チーム」

常設

いじめ問題が発生した場合
「個別案件対応班」設置

未然防止

早期発見

早期対応

積極対応

いじめ対応アドバイザー

外部関係機関との連携(警察・児童相談所等)

■各学校で「いじめ問題対策チーム」を常設し、いじめに関する情報について、担任などの一部の教員が抱え込むことなく、校長をトップとしたチームで共有するとともに、常にいじめ問題に即応できる体制を整えることとしています。

■いじめが発生した場合は、「個別案件対応班」を設置し、初期段階から組織的に積極対応し、早期解消に努めることとしています。

■県教育委員会では学校の要請に応じて「いじめ対応アドバイザー」を派遣し、専門的な見地からアドバイザーが学校に適切な助言を与えることとしています。

家庭におけるチェックポイント

- (1) いじめを受けているようだが、無理に笑ったりして、「大丈夫だ」「心配ない」と強がっているようなことはないですか。
- (2) いらいらしたり、おどおどしたりして、落ち着きがないということはないですか。
- (3) 言葉づかいが荒くなり、八つ当たりしたりするようなことはないですか。
- (4) 家庭から品物やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりすることはないですか。
- (5) ネット閲覧後、おびえるような態度をとるようなことはないですか。

など

相談窓口

① 24時間いじめ相談テレホン(県教委)

076-298-1699 24時間(休日を含む)

② いじめ・不登校相談(県教育センター)

076-298-1682 月～金曜日
午前8時30分～午後5時15分

③ いじめ110番(県警本部少年課)

0120-617-867 24時間(休日を含む)

※いじめ問題に関して石川県教育委員会のホームページ上で公開していますので、参考にしてください。
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/gakkou/ijime-taisaku/ijime-taisaku.html>

やってみませんか？ 学校読書ボランティア



▲読み聞かせをする学校読書ボランティア(加賀市立河南小学校)

学校図書館は、子どもたちが授業の課題などを調べて学ぶとともに、読書をとおして豊かな感性を育む大切な場所です。

その学校図書館の充実のためには、まず専門性のある学校図書館司書がいることが一番ですが、ボランティアのサポートも大きな力となっています。本棚の整理やいたんだ本の修理、絵本の読み聞かせなど、子どもと本を結びつけるために多くの学校読書ボランティアが活躍しています。



▲学校読書ボランティア入門講座の様子

県立図書館では、今年度「学校読書ボランティア入門講座」を8月から10月にかけて金沢、能登、加賀の3つの会場で各2回開催しました。内容は絵本の読み聞かせやブックトークの講義・実演、効果的な本の展示方法の実習などで、延べ272人が参加しました。

参加者からは、「学校読書ボランティアの目的は、子どもたちの成長をサポートすること、子どもの幸せを手伝うことと改めて思いました」といった感想が寄せられました。25年度も開催を予定していますので、皆様の参加をお待ちしています。



また、学校読書ボランティアに興味のある方、始めたばかりの方のために、小冊子「学校読書ボランティアハンドブック～あなたもやってみませんか？～」を作成しました。ボランティアの活動内容や読み聞かせのポイントなど、実際に活動する上で、知っておきたい、気をつけたい点の説明が載っています。詳しくは県立図書館子どもの本のひろばまでお問い合わせください。

(TEL:076-223-9587)



石川よつば
(石川県立図書館のイメージキャラクター)

小学校に入ったら、
いっぱい本を読んで、
いろんなことを
知りたーい！

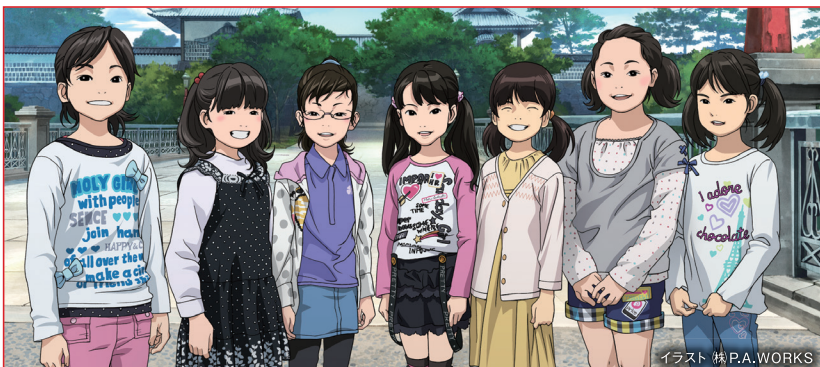


イラスト 株式会社P.A.WORKS

広告

これからも地域の
皆さまとともに。

もりのみやこ少年少女合唱団の協力により
テレビCMを制作しました。

金沢支店 / 〒920-8686 金沢市南町5-28 TEL.076-263-5131

お客さまの「うれしい」を、私たちの「うれしい」に。北陸銀行